

News Release

2021年3月31日

株式会社バックス・バイオイノベーション

各 位

第三者割当増資実施および経営体制強化のお知らせ

神戸大学発バイオベンチャーである株式会社バックス・バイオイノベーション（本社：神戸市灘区、代表取締役：三宅 秀昭、以下「当社」という）は、2021年2月26日、DEFTA Partners（米国 サンフランシスコ グループ会長：原 丈人）、ロート製薬株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：杉本 雅史）、太陽石油株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：岡 豊）を引受先とする第三者割当増資により、総額12億円の資金調達（シリーズAファイナンス）を実施いたしました。

今回の資金調達は、当社設立の2020年3月から2021年1月にかけて実施した、神戸大学教員を中心とした研究者、株式会社科学技術アントレプレナーシップ、DEFTA Partners グループ、Alliance Forum Foundation を引受先としたシードファイナンスに続くものであります。当社は引き続き、シリーズAファイナンスについて複数の事業会社等と協議を重ねており、2021年中に総額35億円程度の資金調達を計画しています。調達した資金は、最先端機器への設備投資、研究開発スタッフの増員、および各種研究活動等を通じた、生物機能を利用した有用物質の生産システムである「バイオファウンドリー」の構築のために活用されます。

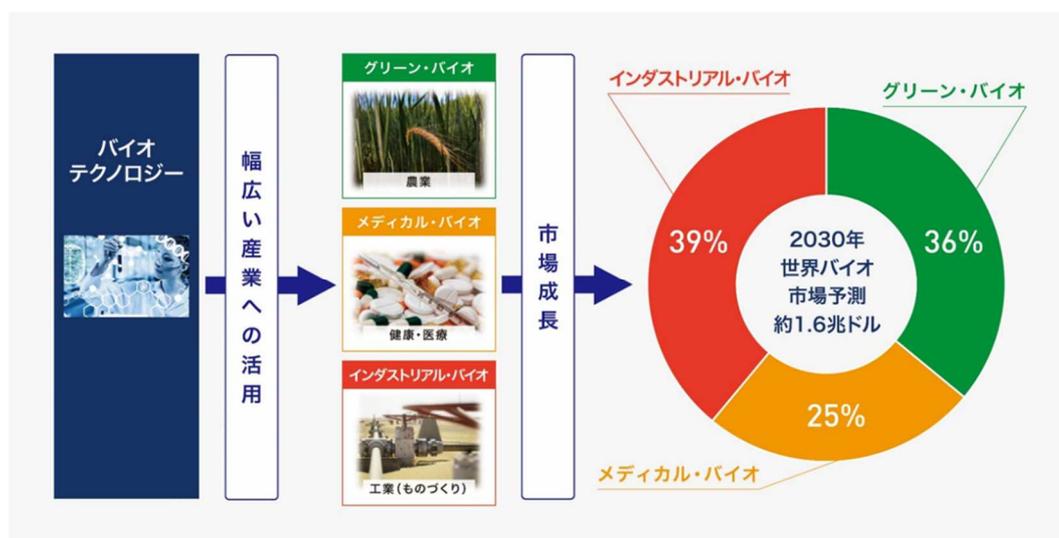
また、本日開催の株主総会および取締役会において、下記のとおり経営体制を強化することを決議いたしました。

取締役会長	原 丈人	DEFTA Partners グループ会長
代表取締役（COO）	三宅 秀昭	株式会社科学技術アントレプレナーシップ 代表取締役
取締役（CSO）	服部 亮	ロート製薬株式会社 再生医療事業部部長
取締役	近藤 昭彦	神戸大学大学院 教授
取締役	山本 一彦	神戸大学大学院 教授
社外取締役	山田 邦雄	ロート製薬株式会社 代表取締役会長
社外取締役	丹治 幹雄	株式会社デフタ・キャピタル 取締役
社外取締役	佐々木 輝明	太陽石油株式会社 執行役員
監査役	高畑 豪太郎	弁護士法人御堂筋法律事務所 パートナー 弁護士

近年、世界では最新のテクノロジーと生物資源を用いて、地球規模の課題の解決と経済発展の共存を目指す「バイオエコノミー」という考え方が台頭しています。また技術革新によるゲノム解析の急

激なコストダウンを背景に、ゲノム編集や DNA 合成といった技術に基づく「合成生物学」と、ビッグデータ、AI、ロボティクス（自動化技術）、IoT、Cloud 等が統合化された「デジタルプラットフォーム」との融合が急速に進んでいます。

OECD が 2009 年に発表したレポート「The Bioeconomy to 2030」によると、2030 年までにバイオ関連市場は OECD 加盟国 GDP の 2.7%（1.6 兆ドル、約 176 兆円）を占めるようになり、マッキンゼーが 2020 年に発表したレポート「The Bio Revolution」では、バイオエコノミーが世界経済に与えるインパクトは 2030 年代には 2 兆～4 兆ドル（約 220 兆～440 兆円）に達すると予測されています。



出所：OECD(2009) The bioeconomy to 2030

一方、わが国の内閣府が発表した「バイオ戦略 2019」においても、2030 年に世界最先端のバイオエコノミー社会の実現を全体目標に掲げ、その中で設定された市場領域の 1 つとして「バイオ生産システム（生物機能を利用した工業分野、食料分野等の生産技術及びプロセス）」、すなわち「バイオファウンドリー」が挙げられています。合成生物学を活用することで、微生物等の育種から生産に必要な大量培養に至るまでのプロセスの高度化と、徹底したデジタル化・AI 化・自動化で効率化を推進し、わが国の本市場領域における国際競争力を飛躍的に向上させることが期待されています。

神戸大学は合成生物学の分野において過去 10 年以上にわたって文部科学省、NEDO、AMED 等のナショナルプロジェクトを通じて多額の研究開発費を獲得し、当該分野における国内有数の一大研究拠点を形成する過程で、卓越した研究成果と経験豊富な人材を多数生み出してきました。当社は神戸大学からその研究成果である先端バイオテクノロジー関連の知的財産権および人材をパッケージとして広義の技術移転を受け、微生物等による有用物質生産に関する受託サービスや自社プロダクトの開発等を行い、本邦初の本格的な統合型バイオファウンドリーの実現を目指します。

当社は、会社を社会の公器と位置付ける「公益資本主義」の考え方にに基づき、その高度な産業イン

フラを関西地域のみならず日本全体、アジア地域も視野に入れながら広く産業界に提供していくことを通じて事業を発展させ、バイオエコノミーの推進に貢献し、「デジタル×バイオ」時代における新たな産業をこの神戸・大阪グレーターベイエリアから創造してゆきます。

当社は 2020 年 9 月に竣工した神戸ポートアイランド内にあるクリエイティブラボ神戸 (CLIK) 内に研究開発拠点を構えますが、神戸大学発の合成生物学関連バイオベンチャー 2 社 (ゲノム編集のバイオパレット社、長鎖 DNA 合成のシンプロジェン社) が既に CLIK の同フロアに入居し、精力的に研究開発を行っています。この 2 社とも緊密かつ有機的に連携しながら、アジアを代表する統合型バイオファウンダリーの実現を目指し、事業化をさらに加速してまいります。

以上

<株式会社バックス・バイオイノベーションについて>

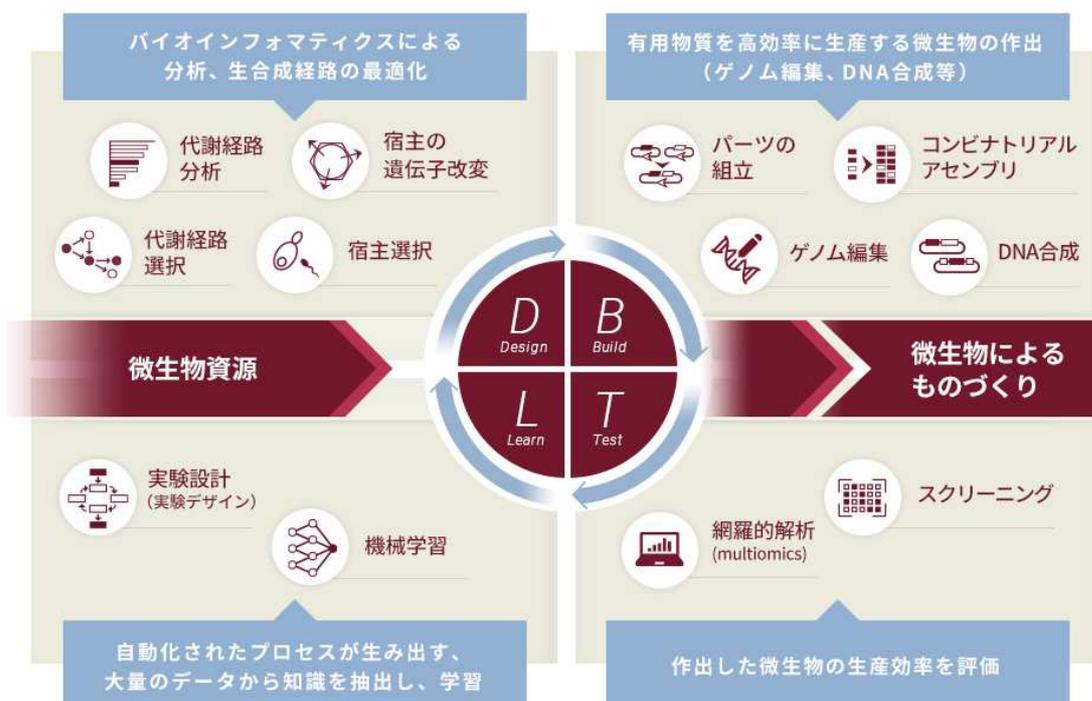
社名： 株式会社バックス・バイオイノベーション
事業内容： 統合型バイオファウンドリー
所在地： 神戸市灘区六甲台町 1-1
設立： 2020年3月
代表者： 代表取締役 三宅 秀昭
URL： <https://www.b2i.co.jp/>

【バイオファウンドリーとは】

最先端のバイオ工学分野の技術等を用いて遺伝子改変微生物を効率的に開発し、従来とは異なる持続可能な方法で有用な物質を生産する一連のシステム（下図参照）。その開発サイクルは、デザイン（D：遺伝子設計）・ビルド（B：微生物作成）・テスト（T：生産物質評価）・ラーン（L：学習予測）の頭文字をとって「DBTL」と呼ばれている。

バイオテクノロジー、デジタル技術（IT・AI）、自動化ロボティクスを統合することで開発サイクル（DBTL）を高速に回転させ、合理的かつ効率的に遺伝子改変微生物の開発が行われる。たとえば通常の酵母菌は糖を原料にアルコールを生産するが、酵母菌の遺伝子に人為的に手を加えることで、アルコールではなく、医薬品・香料・化学製品の原料をはじめ様々な有用物質を生産させることなどが既に実用化されている。

Bio-Foundry



<DEFTA Partners について>

名称： デфта パートナーズ
所在地： 米国カリフォルニア州、サンフランシスコ市
設立： 1984年4月
日本国内事業拠点：株式会社デфта・キャピタル
所在地： 東京都中央区日本橋本町2-3-11 日本橋ライフサイエンスビルディング 5階
代表者： グループ会長 原 丈人
URL： <https://www.deftapartners.com>

<ロート製薬株式会社について>

社名： ロート製薬株式会社（東証一部上場）
所在地： 大阪府大阪市生野区巽西 1-8-1
設立： 1949年9月
代表者： 代表取締役社長 杉本 雅史
URL： <https://www.rohto.co.jp/>

<太陽石油株式会社について>

社名： 太陽石油株式会社
所在地： 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 15F
設立： 1941年2月
代表者： 代表取締役 岡 豊
URL： <https://www.taiyooil.net/>

<クリエイティブラボ神戸について>

名称： クリエイティブラボ神戸（略称 CLIK: Creative Lab for Innovation in Kobe）
所在地： 神戸市中央区港島南町 6-3-7
敷地面積： 約 5,066 m²
延床面積： 約 12,268 m²
建物構造： 鉄骨造、地上 6 階
URL： <http://www.kups.jp/clik/index.html>

本件に関するお問い合わせ先
株式会社バックス・バイオイノベーション
Email: info@b2i.co.jp